



令和5年度
学校だより

吉井小学校だより

輝くよしいっ子

11月

14日 第35号

文責：小西貴仁

生物多様性の学習（5年生）！

11月9日（木）、徳島県環境アドバイザーの坂本真理子さんをゲストティーチャーとしてお招きし、「生物多様性の学習」を5年生が行いました。

坂本さんからは、最初に、「SDGs」についてのお話をして頂きました。SDGsとは、「だれもおきざりにしない、より良い世界へ」ということをめざしていることや、そのためには、世界中が17個の共通目標を決め、2030年までを達成期限として取組をすすめているということについて、スライドを使いながら分かりやすくお話をして頂きました。次に、自分たちの住んでいる加茂谷の自然環境の「山は？」「川は？」「農地は？」危機的な状況に陥っていないだろうかということについて考えました。さらに、「SATOYAMA」という日本の言葉が、現在は世界で通用する言葉になっているというお話も聞かせ頂きました。

また、生物多様性については、次のような詳しいお話もして頂きました。

＜「生物多様性の危機」についてのお話＞

☆人との関わりが原因となっているものとして、4つの危機があること

- 第1の危機として、開発などの人間の活動による危機があること。
- 第2の危機として、自然に対する働きかけの縮小による危機があること。
- 第3の危機として、人間により持ち込まれたものによる危機があること。
- 第4の危機として、地球温暖化による危機があること。

＜「生物多様性」とは、すべての生き物には、ちがいがあるというお話＞

☆3つの多様性があること

- ①生態系の多様性とは、多様な生物とその場の気候や土壌環境等で作られること。
- ②種の多様性とは、いろいろな動物・植物が生育していること。
- ③遺伝子の多様性とは、同じ種類（種）でも、異なった遺伝子をもっていること。



【徳島県環境アドバイザーの坂本真理子さんには、「SDGs」、「生物多様性について」たくさん教えて頂きありがとうございました。】